

## グラウンドワーク川口



総合学習の自然観察会

所 在：川口市

構成員：企業6社、団体17団体、  
行政2機関、個人会員300名

見沼たんぼに生息しているホタルが今後とも見られるよう、保護や幼虫の放流などを行っています。また、見沼たんぼの自然とふれあい、明日を担う子供達への環境教育として、多くの人達と共に、田んぼ作りなど土に触れ合い、農業体験する機会を提供しています。さらに、貴重な動植物の保護を目的とした原っぱ（自然な植物園）作りなども行っております。

### 地域の環境改善活動

～グラウンドワーク川口は自然環境の改善と利活用を目指して  
います～



### 受賞の取組

- ・見沼たんぼに生息するホタルの保護、幼虫の放流などホタルの調査保護活動を行う「ホタルの里づくり」
- ・田んぼや畑、植物園作りと、そこでの自然観察会などを行う「みぬま自然学校」の運営

## 取組をはじめたきっかけ

見沼たんぼに生息しているホタルを、市民・企業・行政の三身一体で守り育てていこうと、平成10年12月、「グラウンドワーク川口実行委員会」として発足しました。

平成12年度より川口市行衛部分の県公有地化事業（見沼たんぼ保全・活用・創造を図る）として、「みぬま自然学校」を運営し、自然とのふれあいを大切に体験・体感できる場を提供しています。

## これからの展望

見沼たんぼは、多くの動植物が生息している貴重な動植物の宝庫です。この貴重な生息地は人の手で守っていかなくてはなりません。「自然観察会」・「総合学習」などを通して、特に青少年の「環境教育」・「自然保護」活動を充実させていきたいと思えます。また、活動を継続していくためにはスタッフの育成が重要と考えています。



収穫祭



田植え

## 受賞して



グラウンドワーク活動は、企業・行政・市民が一体となって取組を進めて行く活動です。当団体の活動に協力いただいた方々のお蔭で、今回、受賞できたものと感謝するとともに、今後も見沼たんぼを保全するため、より一層の活動の充実を図りたいと思えます。